

菊川工場内「風雨・耐震試験棟」本格稼働 ～ゲリラ豪雨や大規模地震から電気と情報を守る～

日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、取締役社長 佐々木 拓郎）は、主力工場の菊川工場内（静岡県菊川市）に、ゲリラ豪雨の雨量、猛烈な台風並みの風速、大規模地震の波形を再現できる設備を導入した、新試験棟「風雨・耐震試験棟」を9月13日から本格稼働します。

情報化社会の発展に伴い、屋外に設置される監視カメラ、携帯基地局など情報通信インフラの重要度が増す中、それらに使用される電源や情報通信機器を収納する屋外キャビネットやシステムラックには、ゲリラ豪雨、強風、地震などの過酷な自然環境にも耐える性能が要求されています。

当社では、市場のニーズに応える製品を提供し続けるため、新たに業界初の暴風雨を模擬できるシミュレーション設備である「風雨試験設備」、地震による揺れを再現し製品に与える影響を確認する「3軸耐震試験設備」を導入し、屋外キャビネットの耐風雨性能やシステムラックの耐震性能など、より自然環境に近い試験を実施することが可能になります。

【風雨・耐震試験棟概要】

- ・ 建築面積 : 約 1,280 m²（4階建て構造）
- ・ 投資金額 : 約 20 億円（試験設備含む）

【主な設備概要】

● 風雨試験設備 <業界初>

最大風速 60m/s（216km/h）、最大降雨量 300mm/h（※）までの強風や豪雨を同時に再現し、耐風圧性能や防水性能に対する影響評価を行います。

※瞬間風速 60m/s は猛烈な風に分類され、住家で倒壊するものがある。

1時間の雨量が 80mm 以上は猛烈な雨に分類され、雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要となる。（気象庁 HP より）

● 3軸耐震試験設備（縦×横×上下の揺れ）

熊本地震などの直下型地震・首都直下型地震を想定した波形、正弦波、ランダム波などの各種試験波形の再現が可能で、耐震性能評価を行います。



以上